

金峰山ヒノキ等の委託販売を実施

当署では、9月22日に熊本市内の熊本木材（株）で開催された第1974回の市に、地元からの伐除要望に基づき危険木処理した空洞等のある高齢級の金峰山のヒノキとスギを約35立方メートル、また9月27日には肥後木材（株）で開催された第2017回の市に、森林整備事業で生産した中から高品質のスギ一般材約470立方メートルをそれぞれ出材しました。

両方の市とも、多くの買方者が参加する中で入札が行われ、競り子の威勢の良い掛け声とともに次々と競り落とされていきました。現在、国有林の素材の販売方法がシステム販売中心になっていることもあり、市売りの入札状況を初めて見学した若手職員もいました。

入札の結果は、熊本木材の市では金峰山ヒノキが腐れなどがあったものの希少な材と言うこともあり、最高入札単価は長級7m、径級54cmが立方メートル当たり16万1千円で取引されるとともに、肥後木材の市では高品質のスギ一般材が、最高入札単価は長級3m、径級24～28cmが立方メートル当たり2万6千円で取引されました。

当署としては、資源の有効活用及び収入確保の観点から、引き続き積極的に高品質材や高付加価値な樹種の被害木等の委託販売に取り組んでいく考えです。

（熊本木材での市売りの模様）

（肥後木材での市売りの模様）

